川崎市総合計画第1期実施計画 政策体系図

基本 政策	政策	施策	事務事業(〇は本計画に掲載している主な事務事業
	政策 4−9	戦略的なシー	ティプロモーション
		施策 4-9-1	都市イメージの向上とシビックプライドの醸成
			〇 シティプロモーション推進事業
			O 国際交流推進事業
			国際施策推進事業
			交流推進事業
			〇 国際交流センター管理運営事業
			O 市民文化大使事業
		施策 4-9-2	川崎の特性を活かした観光の振興
			O 観光振興事業
			O 産業観光推進事業
			O 市制記念花火大会事業
			〇 競輪場整備
			O 競輪開催·運営
			競馬事業の運営

施策評価シート(第1期実施計画 総括評価)

1 施策の概	援要									
	基本政策(1層)	活力と魅力あふれる力強い都市づくり								
政策体系上	政策(2層)	戦略的なシティプロモーション	計画当初値 (H27年)	直近実績値 (H29年)	最終目標値 (H37年)					
の位置づけ	市民 ① 実感指標 ②	市に魅力や良いイメージがあると感じている人の割合	40.7%	38.3%	50.0%					
施策	施策コード	施策名								
(3層)	40901000	都市イメージの向上とシビックプライドの醸成								
担当	組織コード	所属名								
1E =	170700	総務企画局シティプロモーション推進室								
関係課	総務企画局総務部庶	務課、市民文化局市民生活部(交流推進担当)、市民文化局市民文化振興室								
施策の概要	ミュージアムや川崎つ ●東京2020オリンピッ るため、ブランドメッセ ●市民の情報取得手 民にしっかりと情報 動)とともに、口コミな ●グローバル化が進	●本市に対する都市イメージは10年前と比較し上昇していますが、今後もより一層都市イメージの形成・向上を図るため、藤子・F・不二雄ミュージアムや川崎フロンターレ、等々力緑地、工場夜景など、本市の多面的な魅力を活かしたイメージ戦略を進めます。 ●東京2020オリンピック・パラリンピックの開催、羽田空港の更なる国際化などによる、新たなビジネスチャンスの活用、観光・商業の振興を図るため、ブランドメッセージ等を効果的に用いて、国内外に向けたさまざまな情報発信を戦略的に行います。 ●市民の情報取得手段が新聞、テレビのほかインターネットやソーシャルメディアなど多様化する中で、媒体や発信手法の特性を踏まえた、市民にしっかりと情報が届く、効率的・効果的な情報発信が必要です。さまざまなメディアの効果的な活用、パブリシティ活動(メディアへの広報活動)とともに、口コミなどによる、市民自らの情報発信力を活かす取組を展開します。 ●グローバル化が進展する中、世界における本市の存在感を高めるため、これまで良好な関係を築き上げてきた海外都市とお互いの強みや特性を活かした交流を推進し、都市の魅力の向上を図ります。								
直接目標	市内外におけ	ける市の認知度・好感度を高める								

2	成	果指標やその他成果などの状況と成果の	D分析					
		実施計画に位置付けた指標名 (指標の説明)	現状値(年度)	目標·実績	H28年度		H29年度	単位等
		シビックプライド指標 市民の市に対する「愛着」に関す	6.0	目標値@	6.06		6.1	点
		る平均値	0.0	実績値し	5.9		5.5	
	1	都市イメージ調査において「愛着」に関して3つの質問項目を設け、そ の評価を1点(最低点)~10点(最高点)とし、各項目の平均値を得点	H26	達成率(b/a)	97.4%		90.2%	7
		説明として算出	1120	指標達成度 ※1	С		C	増減
成		シビックプライド指標 市民の市に対する「誇り」に関す	5.0	目標値@	5.06		5.1	点
甲		る平均値	3.0	実績値し	4.9		4.9	
果指	2	指標の 都市イメージ調査において「誇り」に関して3つの質問項目を設け、そ の評価を1点(最低点)~10点、最高点)とし、各項目の平均値を得点	H26	達成率(b/a)	96.8%		96.1%	7
標		説明として算出として第出として第出として第一	1120	指標達成度 ※1	С		С	増減
		隣接都市における、川崎市に良いイメージがあると感じ	50.3	目標値@	50.7		51.0	%
		ている人の割合	30.5	実績値し	42.0		35.3	
	3	都市イメージ調査において、「川崎市のイメージについて、どのように 思いますか」という質問に対して、その評価を1点(最低点)~10点	H26	達成率(b/a)	82.8%		69.2%	7
		説明 (最高点)とし、隣接都市居住者のうち6点~10点を選んだ割合	1120	指標達成度 ※1	С		C	増減
		数値で把握できる補足指標 (指標の説明)		実績	H27年度	H28年	F度 H29年度	単位
		ブランドメッセージの認知度						
	1	指標の 説明 がある」と答えた人の割合		実績		38.8	8 59.5	%

定性的な成果 (取組を進めたこと

測れない効果などに

ついて記載)

- ●人口150万人の突破を記念したマークの作成・周知活動、4,000人の市民の笑顔の写真をつないだビッグフラッグの作成、かわさきにちなん だ川柳の募集(7,500人以上の応募)、市内様々な団体や学校の協力による花展の実施など、記念事業を実施し、本市の都市イメージの向上 につながりました。
- で発現した数値では ●ブランドメッセージについて、中学校美術部と連携した大型作品の掲出、川崎市出身バンドで市民文化大使に就任したSHISHAMOと連携し たポスター作成・掲出、市内書店と連携したブックフェアの実施等の取組を通じて、認知度の向上に努めた結果、都市イメージ調査で川崎市民 の59.5%(平成28年度調査では、38.8%)がロゴを見たことがあると回答するなど、認知度が上昇しました。
 - ●企業と連携した本市の魅力発信ポスターを市内1,000箇所で掲出することで、本市の多彩な魅力のPRにつなげることができました。

指標等の 成果分析 (指標の目標値達成

を阻む外的要因等

を含めて記載)

- ●都市イメージ調査によると、市民による「川崎市のイメージ」、「愛着」、「誇り」のいずれも居住20年未満の市民の数値が平均より低いこと、また、40代までの女性の数値が特に低いこと(本市に良いイメージを持っている割合:全市平均49.2%、40代までの女性38.5%、愛着5.2、誇り 4.3)、さらに北部地域住民の「愛着」「誇り」の平均数値が南部地域住民平均より約0.3ポイント低いことが挙げられます
- ●市民が「川崎市」のイメージを規定しているキーワードとして「工業、公害、工場」、「治安が悪い・ガラが悪い」が上位を占めており、イメージの 源泉を「昔ながらのイメージ」としています。さらに、北部地域住民や、40代以上の多くの方が本市のイメージを「工業」と想起しており、一定の地域・世代において、古くからの本市のイメージを保持している層がいることがわかります。
- ●隣接都市において本市のイメージを良いと感じる人の割合は、平成26年度に50.3%であったのが、平成27年度43.3%、平成28年度42.0% 平成29年度35.3%と下がってきており、平成27年度の各種事件・事故に伴い悪化したイメージが払拭できていないと考えられます。また、市民が「川崎市のイメージ」を良いと感じる割合は「居住区のイメージ」を良いと感じる割合より低くなっていることから、居住区以外の市の魅力が市民に十分に伝わっていない可能性があると考えられます。このことを踏まえると、隣接都市においても本市の魅力が十分に伝わっていないた めに、都市イメージが低くなっていると考えます。

3	施策を構成す	で <u>き</u>	<u>な</u> 事務事業の評価						
	事務事業コード				事業費		事業の		
番	TWTA- 1	サービ	事務事業の概要	主な取組の実績	予算額	決算額 H27年度	達成度	施策への貢献	今後の事業の
号	事務事業名	ス分類	(簡潔に記載)	エな収配の关稿	H2/年度 H28年度			度	方向性
	7 112 7 117 12				H29年度	(※決算額は	見込)		
	40901010			●「第2次シティプロモーション推進実施計画」の検討・策定 ●国内外に向けた、各種メディアの効果的活用によるシティプロ	40,401	33,573			
1	シティプロモーション推	その他	戦略的な情報発信等により、市民のシビッ クプライドの醸成及び対外的な都市イメー ジの向上を図ります。	モーションの推進 ●ブランドメッセージ等を活用した効果的な情報発信及び民間 活力と連携したPR事業の実施	49,264	43,965	4	B やや貢献 している	II 改善しな がら継続
	進事業			●都市ブランド推進事業の実施	35,308	34,651	3		
	40901020		海外からの視察受入や国際交流協会との		32,691	31,536		В	, T
2	同	イベント		●クロアチア・リエカ市姉妹都市提携40周年記念事業の実施		31,162	3	やや貢献	現状のまま継続
	国際交流推進事業		亦え加と促進しよす。		52,947	42,599	3	0 000	る神医が
	40901050		市民の国際理解の増進及び国際友好親		194,917	187,152		B やや貢献 ヨ している	I 現状のま ま継続
3	国際交流センター管理	施設の管 理・運営		●国際交流に関する研修会や行事等の開催	192,174	181,126	3		
	運営事業		27 100070		170,023	168,113	3		5 ·4E456
	40901060		文化芸術・スポーツ分野で活躍する本市 にゆかりのある方々を市民文化大使として	●第9期末足ウル+体の圧会(11組)	1,451	646		B やや貢献 i	п
4	市民文化大使事業	その他	任命し、国内外での活動で連携すること	●市民文化大使に個々の活動や、市の事業への協力による川 崎市のアピールやイメージアップなどの貢献	1,216	730	3		改善しな
			図ります。		2,134	641	3		
5									
6									

4 施策の遺	を成状況 	選択区分	達成状況区分を選択した理由
達成状況 (指標等の成果を中 心に施策を構成す る事務事業の評価 等から総合的に評	A. 順調に推移した (目標を達成した) B. 一定の進捗があった (目標未達成のものがあるが 一定の進捗があった) C. 進捗が遅れた (現状を下回るものが多くあった) D. 進捗は大幅に遅れた (現状を大幅に下回った)	C	●ブランドメッセージの活用や各種メディアによる市の魅力発信など都市イメージの向上につながる取組の推進のほか、姉妹都市との記念事業や市民文化大使による本市のアピールなど配下の事務事業の取組は、目標達成に向けて進捗しています。 ●一方で、都市イメージやシビックプライドの現状に係る成果指標は、いずれも目標を下回っており、上記の取組による効果があらわれていない状況です。

5 今後のア	方向性		
	区分	選択区分	「事業構成の妥当性を選択した理由」及び「今後の方向性」
今後の 事業構成の 妥当性 (<u>手段は妥当か?</u>)	I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) Ⅲ. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) Ⅲ. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) Ⅳ. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	I	●現状、事業の効果としては成果指標にあらわれていませんが、都市イメージの向上やシビックプライドの醸成は粘り強く取組を行うとともに、中長期的な視点で考えていく必要があるため、他施策とも十分に連携しながら、現在取り組んでいる事業を継続して進めていくこととします。 ●今後は、成果指標の改善につなげるため、地域、世代等を絞り込んだ集中的なプロモーションや市域に一体感が生まれるコンテンツとの連携によるプロモーションの取組を中心に進めていきます。

事業の	概引	Ę										
			事務事業コード			事務事業	4		実施計画の記載			
	争務	事業	40901010	シティプロモ	シティプロモーション推進事業							
	Jan .	ALE	所属コード				所属名					
	担	当	170700	総務企画局シ	総務企画局シティプロモーション推進室							
		#0 BB	事業開始年度	事業終了年度	事務・サービ	ス等 分類	[1(市民サービス等)	分類2(内部事務)			
	美胞	期間	_	_	の分類		その他		_			
	実施	形態	□ 市が直接実施	☑ 一部委託	□ 全部委託	€ •指定管理	□ ボランティア等と	の協働 口 そ	の他			
実施根拠			□ 国・県の制度 □ 国・県の制度+市独自の制度 ☑ 市独自の制度									
		҈・要綱等)										
		携する計画等	シティプロモーション									
		プログラムに		改革項目			-	課題名				
関連	重する	お課題名	1(3) 市民との積	極的な情報共有の	推進	1 効果	的な情報発信の取組技	推進				
		年度	H27 \$	丰度	H28 1	丰度		H29年度				
		十段	予算額	決算額	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額(見込)			
		事業費 A	40,401	33,573	49,264	43,9	65 49,264	35,308	34,651			
予決算	財	国庫支出金	0	-	0		- 0	0	-			
(単位:	源	市債	0	-	0		- 0	0	-			
千円)	内	その他特財	309	-	605		- 605	292	_			
	訳	一般財源	40,092	-	48,659		- 48,659	35,016	_			
		人件費 [※] B			38,584	38,5	84 39,936	39,936	39,936			
総コスト(A+B)				87,848	82,5	19 89,200	75,244	74,587				
人	工(単	单位∶人)			4.5	5		4.8				

※ 人件費は、各年度の予算における職員1人当たり人件費に、各年度の人工を乗じて算出した参考値です。

隣接都市における、川崎市に良いイメージがあると感じている人の割合

都市イメージ調査において、「川崎市のイメージについて、どのように思いますか」という質問に対して、その評価を1点(最低点)~10点(最高点)とし、隣接都市居住者のうち6点~10点を選んだ割合

成果 指標

計画(Plan)						
	政策	戦略的なシティプロモーション				
政策体系	施策	都市イメージの向上とシビックプライドの醸成				
	直接目標	市内外における市の認知度・好感度を高める				
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	市民、海外を含む	市外の方				
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	戦略的な情報発信	等により、市民のシビックプライドの醸成及び対外的な都市イメージの向上を図ります。				
(どういった業務内容で、どのような		を様々なメディアやブランドメッセージを効果的に活用し、市内外、更には海外に情報発信します。 た地域資源の発掘や新たな魅力作り、連携等により、川崎の魅力をより高め、市民のシビックプライドを醸成しま				
当該年度の取組内容 (第1期実施計画に記載されている具 体的な <u>当該年度</u> の取組)	①「第1次シティプロモーション推進実施計画」に基づくシティプロモーションの推進 ②「第2次シティプロモーション推進実施計画」の検討・策定 ③国内外に向けた、各種メディアの効果的活用によるシティプロモーションの推進					
	③国内外に向けた ・市のPR冊子の作 ・動画の効果的な					

実	施結	果(Do)										
取		「当該年度」に対する		3	1. 目標を大きく 2. 目標を上回っ 3. ほぼ目標どお	て達成		票を下回っ					
「 <u>数</u> (記「当該年 値等でよ り できる取	内容の実 紀 F度の取組内 <u>り具体的に実</u> 組」、又は「 <u>未</u> 達成できた部	容」に対し、 績を示すこ 達成部分 」	③市のイメージアップ、シティプロモーションに繋がる広報誌として平成28年度にリニューアルした市勢要覧にPR冊子を統一し、平成29年度30,000都作成(平成28年度は、15,000部)したほか、川崎駅北ロオープンにあわせ動画3本制作、さらに市民からPR映像を募集しコンテストを実施し、市内各所で放映しました。 ④ブランドメッセージについて、中学校美術部と連携した大型作品の掲出、川崎市出身バンドSHISHAMOと連携したポスター作成・掲出、市内書店と連携したブックフェアの実施などを行いました。 ④企業と連携した本市の魅力発信ポスターを制作し、市内1,000箇所で掲出しました。								テストを	
指相	厚分類	数值	で事業の	実績・効果等を批	巴握できる指標	(指標の説明)	E	標·実績	H27年度	H28年度	H29年度	単位	
1	灰果			市民の市に対す				目標		6.06	6.1	点	
'	指標			おいて「愛着」に関して3つの 均値を得点として算出)質問項目を設け、その評(項目を設け、その評価を1点(最低点)~10点(最高		実績	5.8	5.9	5.5	灬	
2	成果	シビックプ	ライド指標	市民の市に対す	る「誇り」に関する	「誇り」に関する平均値				5.06	5.1	F	
-	指標			おいて「誇り」に関して3つの! 均値を得点として算出	「誇り」に関して3つの質問項目を設け、その評価を1点(最低点)~10点(最高 を得点として算出 実績 4.9 4.9							点	

目標

実績

43.3

50.7

42.0

51.0

35.3

%

評	価(C	heck)												
		社会環境の変化 動向や法改正、規 はど)	市の魅力や抗の向上及び							いていない	状況に	あるため、	効果的な情報発信等により、	都市イメージ
事	業の見直し	→ 改善内容	☑ 実施	(直近)	Н	29 年度	Ę	□ :	未実施					
	具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載 できる場合は記載 できるまであるシビックプライ であるシビックプライ であるシビックプライ での確成を目的の一つとして定めたほか、テーマを設けるなど、都市ブランド強化に向けた制度改正を行いました。													
				ħ	価項	目							評価	
		【市民のニーズ】 事業を取り巻く環	境の変化等に	こより、事	業に対	対するニー	一ズが落	専れて	いないか?				a. 薄れていない b. 薄れている	a
ú	必要性	【市が実施する必 他都市で、民間等		是供してい	る事	例がない	か?						a. ない b. ある	a
		評価の理由	市の魅力や抗市イメージの								い状況	こあるため	・)、引き続き効果的な情報発信	等により、都
4	有効性	【 成果】 活動結果(活動打	旨標等)に対し	指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか?						a. 上がっている b, 徐々に上がっている c. 上がっていない	С			
		評価の理由	ブランドメッセー ジ調査のクロス										「標「愛着」「誇り」の数値向上のたる ます。	め、都市イメー
		【 民間の活用 】 委託や指定管理	者制度など、	実施手法	につい	こついて民間活用によりコストを削減できる余地があるか?					a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b		
<i>*</i>		【事業手法等の見 事業の成果を維 る事務改善の可能	ー 持しながら、		仕様	の見直し	などに。	よる経	費削減や事	務手続きの	の見直し	などによ	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
_ ^	効率性 【質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規(職員・組織)の質の向上を図ることができる							用で行	いながら、テ	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	С			
	評価の理由 ブランドメッセージについては、周知度を高める事業手法等について継続して見直し等を進めていきます。 職員の広報力向上を目指し、新たなテーマによる研修等を実施しました。													
		貢	献度区分						上記「有効	性」の成果	等を踏	まえ左記	区分を選んだ理由	
	策への貢献度	A. 貢献している B. やや貢献している C. 素材の体令しが進り				現状、事業の効果としては成果指標にあらわれておらず、いずれも目標達成には至っていませんが メディアやブランドメッセージを効果的に活用し、本市の多様な魅力を市内外、海外に情報発信する 組を進めてきました。都市イメージの向上やシビックプライドの醸成は粘り強く取組を行うとともに、中 な視点で考えていく必要があります。								するなどの取
						_								

今後の事業の方向性 方向性区分 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 「I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 II. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了 「VI. 事業終了

事業σ)概§	Ę											
		عالد الح	事務事業コード			事務事業名			実施計画の記載				
	事務	事業	40901020	国際交流推	国際交流推進事業								
		Alla	所属コード			所	属名						
	担	当	171100	総務企画局総	総務企画局総務部庶務課								
	実施期間		事業開始年度	事業終了年度	事務・サービ	ス等 分類10	市民サービス等)	分類2(内部事務)				
	美肔	期间	_	_	の分類		イベント等		_				
	実施	形態	☑ 市が直接実施	☑ 一部委託	□ 全部委託	・ 指定管理 🕻	丞 ボランティア等との	D協働 口 そ	の他				
		根拠	□ 国・県の制度 □ 国・県の制度+市独自の制度 ☑ 市独自の制度										
		う・要綱等)											
総合計	画と連	携する計画等	国際施策推進プラン		割生総合戦略、文(k芸術振興計画							
		プログラムに		改革項目			課	題名					
- 関	連する	5課題名											
		年度	H27年	度	H28年	度		H29年度					
			予算額	決算額	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額(見込)				
		事業費 A	32,691	31,536	38,514	31,162	36,926	52,947	42,599				
予決算	財	国庫支出金	0	-	0	-	0	0	-				
(単位:	源	市債	0	-	0	-	0	0	-				
千円)	内	その他特財	18,324	-	18,942	-	18,942	19,563	_				
	訳	一般財源	14,367	-	19,572	_	17,984	33,384					
		人件費 [※] B			18,826	18,826	18,054	18,054	18,054				
	総コスト(A+B)				57,340	49,988	54,980	71,001	60,653				
	人工(単	单位:人)			2.22	2		2.17					
	人工、年度、人/ 2.17 2.17 人件費は、各年度の予算における職員1人当たり人件費に、各年度の人工を乗じて算出した参考値です。												

計 画(Plan)		
	政策	戦略的なシティプロモーション
政策体系	施策	都市イメージの向上とシビックプライドの醸成
	直接目標	市内外における市の認知度・好感度を高める
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	市民、企業	
	海外都市が持つ特 国際交流を推進し	性を活用し、お互いのメリットを明らかにした互恵関係が構築できる交流事業を実施するとともに、地域におけるます。
事業の内容 (どういった業務内容で、どのような 手段で実施しているか)	姉妹友好都市提携ます。	から周年記念を迎える時期を捉えて、今後どのような分野で交流をより進めていくか確認書などで明らかにしてい
当該年度の取組内容 (第1期実施計画に記載されている具 体的な 当該年度 の取組)		受入や(公財)国際交流協会と連携した国際交流の推進 カ市姉妹都市提携40周年記念事業
当初計画からの変更箇所 (上記計画に記載されている内容から変更となる取組)		

実施結果(Do)

J	上記 取組内容	2「当該年度の 容」に対する達成度	3	1. 目標を大きく。 2. 目標を上回っ 3. ほぼ目標どま	て達成		標を下回っ標を大きく				
<u>ا</u> ا	上記 「当該 数値等で。 ができる	内容の実績等 年度の取組内容」に対し、 <u>はり具体的に実績を示すこ</u> 取組」、又は「 <u>未達成部分</u> 」 <u>り達成できた部分</u> 」を記載)	目標どおり達成できる リエカ市との周年記念 サート等を実施しまし	念事業については、	7月に代表団をリ	ノエカ市へ	派遣する。	とともに、11月に	こはリエカ市代表	団を受入れ、記だ	念コン
1	旨標分類	数値で事業の	実績・効果等を把	!握できる指標	(指標の説明])	目標・実績	H27年度	H28年度	H29年度	単位
							目標				
		説明					実績				
	,						目標				
Ľ		説明					実績				
							目標				
3	5	説明					実績				
							目標		·		
4		説明					実績				

評価(の	Check)										
(国・県・他団体の	社会環境の変化 動向や法改正、規 知など)						た、東京2020オリンピック・パラリンピッ これまで以上に本市の国際化の取組を進		台客等の本		
事業の見直	し・改善内容	☑ 実施	(直近)	H 25	5 年度		未実施				
※過去に見	見直し・改善内容 直した履歴も記載 場合は記載	H25:韓国富 定」を見直し、					遺及び受入を毎年実施していたものを、糸。	圣費や効果の点から、「職員相	互派遣協		
			評	価項目				評価			
	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環	境の変化等に	こより、事業	に対す	ナるニーズ が	薄れて	こいないか?	a. 薄れていない b. 薄れている	a		
必要性	【市が実施する必 他都市で、民間等		是供してい	る事例が	がないか?			a. ない b. ある	a		
東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けて更なる訪日外国人旅行者の増加が見込まれ、また、市内 多様化しており、本市が進める国際施策の推進には市民、市民団体等を含めた市全体での取組が必要です。											
有効性	【成果】 活動結果(活動持	指標等)に対し ・	事業の成績	果(成果	県指標等)は	順調に	上がっているか?	a. 上がっている b, 徐々に上がっている c. 上がっていない	b		
	評価の理由	姉妹•友好都	市等との絹	迷続的な	な交流を通じ	て、地	域における国際交流が推進されました。	.tc.			
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	者制度など、	実施手法に	こついて	て民間活用に	よりコ	ストを削減できる余地があるか?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	а		
効率性	【事業手法等の見 事業の成果を維 る事務改善の可能	 持しながら、契		土様の!	見直しなどに	よる紹	受費削減や事務手続きの見直しなどによ	a. 可能性はない b. 可能性はある	b		
刈平住	【質の向上】 事業を適正な(遊 (職員・組織)の質				テいながら、市民サービスや市役所内部 アンスカー	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b				
	評価の理由	交流事業にて ら、効果的・交					作内容やスキームが決定するため、引き 線	き事業手法等について検討を	行いなが		
	貢	献度区分					上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区	【分を選んだ理由			
施策への 貢献度	A. 貢献してい。 B. やや貢献し C. 貢献の度合	ている	В				こカ市との姉妹都市提携40周年記念事業 写真展を開催するなど、一定程度の都市・				

改善(A	ction)	
	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
今後の事業 の方向性	I. 現状のまま継続 Ⅲ. 改善しながら継続 Ⅲ. 事業規模拡大 Ⅳ. 事業規模縮小 Ⅴ. 事業廃止 Ⅵ. 事業終了	今後とも、それぞれの都市が持つ特性を活用し、お互いのメリットを明らかにした互恵関係が構築できる交流事業を実施することにより、地域における国際交流を推進していきます。

事業の	既县												
_		—— <u>alle</u>	事務事業コード			事務事業名			実施計画の記載				
•	事務	事 某	40901030	国際施策推	進事業				無				
		454	所属コード			所	属名						
	担	当	171100	総務企画局総	務部庶務課								
		Hn 88	事業開始年度	事業終了年度	事務・サービ	ス等 分類10	市民サービス等)	分類2()	内部事務)				
	実施	期间	平成28年度	平成37年度					(策定・進行管理)				
;	実施	形態	☑ 市が直接実施	□ 一部委託	□ 全部委託	・指定管理 [〕 ボランティア等との	の協働 口 そ	の他				
:	実施	根拠	□ 国・県の制度	□ 国・県の制度 □ 国・県の制度 + 市独自の制度 ☑ 市独自の制度									
	(法令	•要綱等)											
総合計画	と連	隽する計画等	国際施策推進プラン										
		プログラムに		改革項目			課	題名					
関連	重する	課題名											
		年度	H27年	度	H28年	度		H29年度					
		十段	予算額	決算額	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額(見込)				
		事業費 A	4,000	3,996	281	76	281	227	0				
予決算	財	国庫支出金	0	-	0	1	0	0	-				
(単位:	源	市債	0	-	0	-	0	0	-				
千円)	内	その他特財	0	-	0	-	0	0	_				
	訳	一般財源	4,000	-	281	_	281	227	-				
		人件費 [※] B			2,374	2,374	2,746	2,746	2,746				
	1	総コスト(A+B)			2,655	2,450	3,027	2,973	2,746				
	工(単	.位:人)			0.28			0.33					

計 画(Plan)		
	政策	戦略的なシティプロモーション
政策体系	施策	都市イメージの向上とシビックプライドの醸成
	直接目標	市内外における市の認知度・好感度を高める
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	市民、企業、職員	
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	国際施策推進プラ	ンの的確な推進を図り、真のグローバル都市川崎をめざします。
事業の内容 (どういった業務内容で、どのような 手段で実施しているか)	川崎市国際施策推	進委員会を設置し、プランの進捗管理を実施します。
当該年度の取組内容 (第1期実施計画に記載されている具体的な 当該年度 の取組)	①「国際施策推進:②第2期実行プログ	プラン」の推進と進捗管理 グラムの策定
当初計画からの変更箇所 (上記計画に記載されている内容から変更となる取組)		

実施結果(Do)

耳			年度の する達成度	3	1. 目標を大きく。 2. 目標を上回っ 3. ほぼ目標どお	て達成		標を下回っ 標を大きく				
<u>اغ</u>	:記「当該 ⁴ な値等でよ ができる取	F度の取り り 具体的 (組)、又(実績等 組内容」に対し、 に実績を示すこ は「未達成部分」 た部分」を記載)	目標どおり達成できま ①の国際施策推進プより、具体的な議論か ②の実行プログラム!	プンについては、国 バできたため、1回の)開催となりました	0			行う予定でした。	が、同幹事会の原	開催に
措	標分類	娄	対値で事業の	実績・効果等を把	提できる指標	(指標の説明)	目標・実績	H27年度	H28年度	H29年度	単位
Г	活動	川崎市	国際施策推進	基委員会の開催件数	枚			目標		2	2	
Ľ	指標	説明	プランの進捗管理を行	行う川崎市国際施策推進委員	社会の開催件数		実績	0	2	1		
2								目標				
		説明						実績				
3								目標				
		説明						実績				
4								目標				
-		説明						実績				

評価((Check)											
事業を取り着	く社会環境の変化 トの動向や法改正、規 緩和など)	訪日外国人が 組が求められ			際的な都市	市間競 勻	争の激化、外国	人市民の	増加と多様	化など	、グローバル化に伴う新たな	課題への取
事業の見	直し・改善内容	☑ 実施	(直近) ト	27	年度		未実施					
※過去に	な見直し・改善内容 - 見直した履歴も記載 きる場合は記載	H24年度: 庁 Г 「国際施策展	内各局で個 開の基本的	別に行	われている _方」(庁内	る国際関 向け・国	連事業を全庁 際展開分野の	的な観点	に立って整1 成しました。	合性を	進プラン」を策定しました。 図りながら効果的に実施して 義」を設置・開催しました。	いくため、
			評値	西項目							評価	
	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環	環境の変化等に	こより、事業	に対す	るニーズカ	が薄れて	いないか?				a. 薄れていない b. 薄れている	a
必要性	【市が実施する必 他都市で、民間等		是供している	る事例が	ぶないか?						a. ない b. ある	a
	評価の理由						向けて更なる訪 民団体を含め				見込まれ、また、市内外国人で 「あります。	市民も増加・
有効性	【成果】 活動結果(活動持	指標等)に対し ・	事業の成果	見(成果	指標等)は	順調に	上がっているた	ነ \?			a. 上がっている b, 徐々に上がっている c. 上がっていない	b
	評価の理由	国際施策推進	生プランの 近	進捗を適	を適正に管理することにより、本市国際施策が総合的に推進されました。							
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	者制度など、乳	実施手法に	ついて	民間活用に	こよりコ	ストを削減でき	る余地がる	あるか?		a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	а
効率性	【事業手法等の見 事業の成果を維 る事務改善の可能	 持しながら、契		上様の見	直しなどに	こよる経	養削減や事務	系手続きの	見直しなどに	こよ	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
双 平压	【質の向上】 事業を適正な(過 (職員・組織)の質					費用で行	ういながら、市 🏻	民サービス	くや市役所内	内部	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
	評価の理由	本市国際施策の着実な推進にあたっては、民間事業者等に委託することなく、行政が進捗管理を行う必要があります。引き続き 際施策推進委員会・同幹事会を通じて情報共有・庁内調整等を実施し、効果的・効率的に事業を推進していきます。								ー lき続き、国		
	貢	献度区分 _		上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由								
施策への 貢献度	A. 貢献してい B. やや貢献し C. 貢献の度合		国際施策を総合的に推進することにより、市内外へ本市の多様な魅力や強みなどをアピールするなど、一定程度の施策への貢献はありました。									

改善(A	ction)	
	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
今後の事業 の方向性	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了	今後とも川崎市国際施策推進委員会を通じてプランの進捗管理を適正に行うとともに、情報共有や連携、課題への対応を図り、真のグローバル都市川崎をめざします。

事業の	概戛	<u> </u>										
			事務事業コード			事務事業名			実施計画の記載			
	事務	事業	40901040	交流推進事:	*				無			
			所属コード			所	属名					
	担	当	251000	市民文化局市	民生活部(交流推進	担当)						
		ur oo	事業開始年度	事業終了年度	事務・サービス等の分類 分類1(市民サービス等) イベント等		分類2(内部事務)				
	実施	期间	_	_					_			
	実施	形態	☑ 市が直接実施	□ 一部委託	□ 全部委託・	指定管理 □] ボランティア等との	· D協働 □ そ	<u></u> の他			
	実施	根拠	□ 国・県の制度 □ 国・県の制度+市独自の制度 ☑ 市独自の制度									
	(法令	・要綱等)										
総合計画	iと連	携する計画等	文化芸術振興計画									
		プログラムに 課題名		改革項目			課	題名				
			H27年	度	H28年	度		H29年度				
		年度	予算額	決算額	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額(見込)			
		事業費 A	28,867	27,732	28,599	27,459	28,599	28,145	27,478			
予決算	財	国庫支出金	0	-	0	-	0	0	-			
(単位:	源	市債	0	-	0	-	0	0	-			
千円)	卢	その他特財	1,575	-	1,564	-	1,564	1,572	-			
	訳	一般財源	27,292	-	27,035	-	27,035	26,573	_			
		人件費 [※] B			5,088	5,088	4,576	4,576	4,576			
	1	総コスト(A+B)			33,687	32,547	33,175	32,721	32,054			
	T (単	位:人)			0.6			0.55				
	_	* *										

計 画(Plan)		
	政策	戦略的なシティプロモーション
政策体系	施策	都市イメージの向上とシビックプライドの醸成
	直接目標	市内外における市の認知度・好感度を高める
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	本市及び友好自	治体の市民
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	本市と友好自治の	本の関係にある都市との交流を深め、本市の都市イメージの向上を図ります。
事業の内容 (どういった業務内容で、どのような 手段で実施しているか)	本市と国内友好!	自治体の次代を担う子どもたちが一堂に会する場を提供し、相互理解と親善を深めます。
当該年度の取組内容 (第1期実施計画に記載されている具体的な 当該年度 の取組)	友好自治体交流	会の実施
当初計画からの変更箇所 (上記計画に記載されている内容から変更となる取組)		

	実	施結	果(Do)									
	取		「当該生	年度の する達成度	3	1. 目標を大きく 2. 目標を上回っ 3. ほぼ目標どお	って達成	4. 目標を 5. 目標を					
	「 <u>数(</u> とが	記「当該 ^会 直等でよ できる取	F度の取終 り具体的 <u>組</u> 」、又は 達成でき	実績等 組内容」に対し、 に実績を示すこ は「未達成部分」 た部分」を記載)	目標どおり達成でき 本市の魅力をPRで 友好自治体及び本	できる施設見学や参 市の子ども37名が	参加し、相互理解と	:友好親善				,	
	指	果分類	数	値で事業の	実績・効果等を把	型握できる指標	(指標の説明)	目根	₹·実績	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	_								目標				
	1		説明					5	実績				
	2								目標				
	2		説明					5	実績				
									目標				
	3		説明					3	実績				
									目標				
	4		説明					3	実績				
Π						•							

車業を取り巻く	heck) 社会環境の変化	- · · · = · · · ·					3 H.Ab D ~ 7 - 1 18 Ab 1 - 2		
(国・県・他団体の	動向や法改正、規口など)	交流事業の す。	美施にあ	たっては	、各目治体	の厳しい財政状況のもと、その事業の効果が身	具体的に見えることが求められて	こきていま	
事業の見直	し・改善内容	☑ 実施	(直近)	H 27	年度	□ 未実施			
※過去に見	見直し・改善内容 直した履歴も記載 場合は記載	H27年度 : を見直し、経				業実施において、参加した子どもの送迎方法に	ついて効率化を図るなど事業 <i>の</i>)実施方	
			評	価項目			評価		
	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環	境の変化等に	こより、事業	きに対す	るニーズが	薄れていないか?	a. 薄れていない b. 薄れている	а	
必要性	【市が実施する必 他都市で、民間等		是供してい	a. ない b. ある	a				
	評価の理由					き加した子ども同士での交流プログラムや市内 Bしていく必要があります。	施設見学等を行うことで、本市の	カイメージ	
有効性	【成果】 活動結果(活動排	指標等)に対し	a. 上がっている b, 徐々に上がっている c. 上がっていない	b					
1377312	評価の理由	次代を担う らも事業継続			、参加者のアンケートや参加自	治体職員			
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	者制度など、	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	а					
効率性	【事業手法等の見 事業の成果を維 る事務改善の可能	持しながら、契		士様の見	見直しなどに	よる経費削減や事務手続きの見直しなどによ	a. 可能性はない b. 可能性はある	а	
刈平江	【質の向上】 事業を適正な(過 (職員・組織)の質(用で行いながら、市民サービスや市役所内部	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	а	
	評価の理由	友好自治体	は委託化が可能ですが、大幅なコスト増が見る	 込まれます。					
	黄	献度区分				上記「有効性」の成果等を踏まえ左記	S分を選んだ理由		
施策への 貢献度	A. 貢献している B. やや貢献し C. 貢献の度合	る ている	В	カ代を担う子どもが参加! 交流を行うことで、自分のまたや他のまたについて知! 友好報義を深					

改善(A	ction)		
	方向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
今後の事業 の方向性	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了	I	友好自治体との友好親善を深め、本市のイメージアップを図るため、交流プログラムについて、引き続き検 討しながら事業を継続していきます。

事業の)概§	要							
	アベチ (単位: 千円) 駅 市債 (内) その他特別 一般財源		事務事業コード			事務事業名			実施計画の記載
	事務	事業	40901050	国際交流セ	ンター管理運営	事業			有
			所属コード			所	属名		
	担	当	251000	市民文化局市	民生活部(交流推	進担当)			
	事務事業 担 当 実施期間 実施形態 実施根拠 (法令・要綱等) 総合計画と連携する計画 行財政改革プログラムに 関連する課題名 年度 事業費 A 財源 内 訳 「中 の に 対 の に 対 の に 対 の に 対 の に 大 の に 対 の に 大 の に 対 の に 大 に な に な に な に な に な に な に な に な に な	. #n ee	事業開始年度	事業終了年度	事務・サービ	ス等 分類10	市民サービス等)	分類2(内部事務)
	実施	期间	_	_	の分類		役の管理・運営		_
	実施	形態	□ 市が直接実施	□ 一部委託	☑ 全部委託	・指定管理 [] ボランティア等との	の協働 口 そ	の他
	実施	根拠	□ 国・県の制度	□ 国•	県の制度+市独自	の制度 🗸	市独自の制度		
			川崎市国際交流セン	ノター条例					
総合計画	画と連	携する計画等	国際施策推進プラン		本計画				
行財政	改革	プログラムに		改革項目			課	題名	
関	連する	る課題名	2(13) 市民サーヒ	ごス等の再構築		4 国際交流	流センターのあり方の	り見直し	
		年度	H27年	F度	H28年	度		H29年度	
		十段	予算額	決算額	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額(見込)
		事業費 A	194,917	187,152	192,174	181,126	248,369	170,023	168,113
予決質	B	国庫支出金	0	-	0	_	0	0	-
		市債	0	-	0	_	61,000	1,000	_
千円)		その他特財	4,735	-	4,693	-	4,693	4,675	-
	一訳	一般財源	190,182	_	187,481	-	182,676	164,348	_
訳	人件費 [※] B			16,536	16,536	15,808	15,808	15,808	
		総コスト(A+B)			208,710	197,662	264,177	185,831	183,921
	1工(主	単位:人)			1.95	5		1.9	
2 1 14 弗1+	A 1- 1	エのマダニ かルフ竝	#昌11半七川 1 4 井	に タケ中のしても	・垂じて笠山山 ナ 全。	ネ はマナ			

※ 人件費は、各年度の予算における職員1人当たり人件費に、各年度の人工を乗じて算出した参考値です。

3

実施結果(Do)

上記「当該年度の 取組内容」に対する達成度

計 画(Plan)										
	政策	戦略的なシティプロモーション								
政策体系	施策	都市イメージの向上とシビックプライドの醸成								
	直接目標	市内外における市の認知度・好感度を高める								
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	市民、企業									
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	本施設を拠点とし	を拠点として、市民が国際理解を深め、市民文化の向上や国際親善の発展に寄与する社会の形成を目指します。								
事業の内容 (どういった業務内容で、どのような 手段で実施しているか)		よる運営のもと、国際理解を深める講座や国際交流を推し進める事業等を開催するとともに、国際交流に取り組む 援や施設の貸出を行います。								
当該年度の取組内容 (第1期実施計画に記載されている具 体的な 当該年度 の取組)	国際交流に関す	景交流に関する研修会や行事等の開催								
当初計画からの変更箇所 (上記計画に記載されている内容から変更となる取組)										

「 <u>数</u> とか	記「当該 ^年 値等でよ できる取	F度の取 り具体的 1組 」、又)実績等 組内容」に対し、 <u>iに実績を示すこ</u> ic「 <u>未達成部分</u> 」 ic <u>た部分</u> 」を記載)	目標どおり達成できました。 国際相互理解を深めるための講座を15回、外国人市民を対象としたイベント等を9回開催し、国際交流の促進を図りました。							
指	厚分類	娄	枚値で事業の	実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明)	目標·実績	H27年度	H28年度	H29年度	単位		
	活動	国際理	異解講座の開催	E回数	目標		11	12			
Ι'	指標	説明	国際相互理解を進め	るための講座の開催回数	実績	13	12	15			
	活動	外国人	市民対象のイ	′ベント・講座の開催回数	目標		5	5			
2	指標	説明	外国人市民を対象と	したイベント及び講座の開催回数	実績	8	7	9			
3					目標						
3		説明			実績						
4					目標						
		説明			実績						

1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり

4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った

評価(Check)										
(国·県·他団体	く社会環境の変化 の動向や法改正、規 援和など)	国際交流セン 計画的な管理					老朽化が進んできていることから、旅	設・設備の機能維持・向上	こに向けた定期的・		
事業の見	直し・改善内容	☑ 実施	(直近) ト	28	年度		未実施				
※過去に	な見直し・改善内容 見直した履歴も記載 ・る場合は記載						、庁内の検討会議を立ち上げ、検討? れた、駐車場の有料化、ホテル・レス		「法の見直しなどを		
評価項目											
	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環	環境の変化等に	こより、事業	に対する	るニーズか	が薄れて	いないか?	a. 薄れていない b. 薄れている	а		
必要性	【市が実施する必 他都市で、民間等		a. ない b. ある	а							
	評価の理由	国際交流セ す。	ンターを拠	点とした	-国際交流	の推進	や国際交流活動への支援などを進め	るため、継続的に実施して	いく必要がありま		
有効性	【成果】 活動結果(活動持	【成果】 活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか?							tua b		
	評価の理由	指定管理者	による講座	・イベン	おり、事業の成果は徐々に	こ上がっています。					
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	者制度など、	実施手法に	ついて目	民間活用に	こよりコ	ストを削減できる余地があるか?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	С		
効率性	【事業手法等の見 事業の成果を維 る事務改善の可能	ー 持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによ						a. 可能性はない b. 可能性はある	а		
刈年任)向上】 ぎを適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部 ⅰ・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか?							а		
	評価の理由	国際交流セ 29年度から駅	います。また、事業手法の見 います。	直しについても、							
	貢	献度区分					上記「有効性」の成果等を踏まえた	尼区分を選んだ理由			
施策への 貢献度	A. 貢献してい B. やや貢献し C. 貢献の度合	ている	В				出しともに高い水準を維持しており、i ありました。		・		

改善(A	ction)		
	方向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
今後の事業 の方向性	I. 現状のまま継続 Ⅱ. 改善しながら継続 Ⅲ. 事業規模拡大 Ⅳ. 事業規模縮小 Ⅴ. 事業廃止 Ⅵ. 事業終了	I	指定管理者による国際交流センターの運営を継続し、国際理解を深める講座や国際交流を推し進める事業等を開催するとともに、国際交流に取り組む市民団体等への支援や施設の貸出を行います。

事業の	概戛									
			事務事業コード			事系	事業名			実施計画の記載
	事務	事業	40901060	市民文化大	使事業					有
			所属コード				所	属名		
	担	当	258000	市民文化局市	民文化振興室					
		#n 88	事業開始年度	事業終了年度	事務・サービ	ス等	分類1(市民サービス等)	分類2(内部事務)
	美 肔	期間	_	_	— の分類 その他		そ	の他		
	実施	形態	☑ 市が直接実施	□ 一部委託	□ 全部委託	指定管] ボランティア等との	の協働 口 そ	<u></u> の他
	実施	根拠	□ 国・県の制度	□ 国・	県の制度+市独自	の制度	Ø	市独自の制度		
	(法令	҈•要綱等)	文化芸術振興基本法	法、川崎市文化芸術	丁振興条例					
総合計画	iと連	携する計画等	スポーツ推進計画、		、シティプロモーシ	ョン戦略	゚゚゚プラン			
			改革項目課題名							
行財政改革プログラムに 関連する課題名										
		年度	H27年	度	H28年度				H29年度	
		T/X	予算額	決算額	予算額	決	算額	計画事業費	予算額	決算額(見込)
		事業費 A	1,451	646	1,216		730	1,796	2,134	641
予決算	財	国庫支出金	0	-	0		_	0	0	_
(単位:	源	市債	0	-	0		-	0	0	-
千円)	内	その他特財	700	-	700		-	700	600	_
	訳	一般財源	751	-	516		-	1,096	1,534	_
		人件費 [※] B			1,272		1,272	0	0	0
	i	総コスト(A+B)			2,488		2,002	1,796	2,134	641
人	工(単	单位∶人)			0.1	5			0	
《 人件費は、4	各年度	の予算における暗	裁員1人当たり人件費1	こ、各年度の人工を	・乗じて算出した参	考値で	す。		•	

計画(Plan)									
	政策	戦略的なシティプロモーション							
政策体系	施策	都市イメージの向上とシビックプライドの醸成							
	直接目標	市内外における市の認知度・好感度を高める							
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	川崎市にゆかりの	市にゆかりのある文化芸術、スポーツ等の分野で活躍している人							
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	川崎市のアピール	崎市のアピールとイメージアップに貢献していただきます。							
事業の内容 (どういった業務内容で、どのような 手段で実施しているか)		川崎市にゆかりのある文化芸術、スポーツ等の分野で活躍している人を川崎市市民文化大使に認定し、個々の活動や市長の代理 しての業務または市の業務などを通じて川崎市のアピールやイメージアップに貢献していただきます。							
当該年度の取組内容 (第1期実施計画に記載されている具 体的な 当該年度 の取組)	第8期市民文化大作	吏の任命及び市民文化大使と連携した取組の推進							
当初計画からの変更箇所 (上記計画に記載されている内容から変更となる取組)									

実	施結	果(Do)										
取			年度の する達成度	3	1. 目標を大きく 2. 目標を上回っ 3. ほぼ目標どれ	って達成	4. 目標を下 5. 目標を大						
取組内容の実績等 (上記「当該年度の取組内容」に対し、 「数値等でより具体的に実績を示すこ とができる取組」、又は「未達成部分」 若しくは「より達成できた部分」を記載				·第8期市民文化大使	目標どおり達成できました。 第8期市民文化大使として、11組の方を任命しました(継続9組、新規2組。任期は平成29年12月1日~平成31年11月30日)。 市民文化大使は個々の活動や市の事業への協力により、川崎市の魅力のPRやイメージアップなどに貢献しています。								
指標	累分類	数	対値で事業の	実績・効果等を把	握できる指標	(指標の説明)	目標·実	積 H27年度	H28年度	H29年度	単位		
							目標						
1		説明					実績						
2							目標						
-		説明					実績						
•							目標						
3		説明					実績						
4							目標						
4		説明					実績						

評価(の	heck)							
(国・県・他団体の	性会環境の変化 動向や法改正、規 ロなど)					大会に向け、市のPRの必要性やPR等を行 引わずより一層の連携及び情報発信が求め		業内容を
事業の見直	し・改善内容	☑ 実施	(直近) ⊦	25 年度		未実施		
※過去に見	見直し・改善内容 直した履歴も記載 場合は記載			被災者等支援 ≿めの見直しを		用した、市民文化大使の被災地での活動I した。	こ対する補助金の創設など、市	民文化大
			評価	項目			評価	
	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環	環境の変化等に	こより、事業	に対するニース	ズが薄れ [・]	ていないか?	a. 薄れていない b. 薄れている	a
必要性	【市が実施する必 他都市で、民間等		是供している	a. ない b. ある	a			
	評価の理由				、ていることから、文化芸術やスポーツ等の 、必要性はますます高まっています。 ・			
有効性	【成果】 活動結果(活動持	・ 指標等)に対し	事業の成果	人(成果指標等))は順調(こ上がっているか?	a. 上がっている b, 徐々に上がっている c. 上がっていない	b
LIMIT	評価の理由	成果が具体的 の魅力をPRI)それぞれの活動や市の行事を	通して市				
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	者制度など、	実施手法に	ついて民間活	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	а		
	【事業手法等の見 事業の成果を維 る事務改善の可能	持しながら、契		a. 可能性はない b. 可能性はある	a			
効率性	【質の向上】 事業を適正な(過 (職員・組織)の質			a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b			
	評価の理由	実施するより	ため市の負担は小さく、一方で。 。 交換を行っていましたが、こうし					
	貢	献度区分				上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区		
施策への 貢献度	A. 貢献してい B. やや貢献し C. 貢献の度合	るている				動のほか、オリンピック・パラリンピックに「 大使が協力することで、本市の魅力のPR-	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	

改善(A	ction)	
	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
今後の事業 の方向性	I. 現状のまま継続 Ⅱ. 改善しながら継続 Ⅲ. 事業規模拡大 Ⅳ. 事業規模縮小 Ⅴ. 事業廃止 Ⅵ. 事業終了	今後も主として市民文化大使自身の活動の中で本市のPRやイメージアップを行っていただきます。また、改選時以外にも意見交換の機会を設けるなど、市民文化大使の効果的な活用を図っていきます。

施策評価シート(第1期実施計画 総括評価)

1 施策の概	援要											
	基本政策(1層)	活力と魅力あふれる力強い都市づくり										
政策体系上	政策(2層)	戦略的なシティプロモーション	計画当初值 (H27年)	直近実績値 (H29年)	最終目標値 (H37年)							
の位置づけ	市民 ① 実感指標 ②	市に魅力や良いイメージがあると感じている人の割合	40.7%	38.3%	50.0%							
施策	施策コード	施策名	'									
(3層)	40902000	川崎の特性を活かした観光の振興										
担当												
, <u> </u>	283350 経済労働局産業振興部観光プロモーション推進課											
関係課	経済労働局公営事業	部総務課、業務課										
施策の概要	します。今後は、市内す。 ●2020年(平成32年) るとともに、海外の観増加に向けた観光施	は、若い世代や女性などの新たなファン層を拡大するために、ガール	て、本市への観光客増加 国人を魅了することができ を活かすことにより、本市	と観光消費のおるような観光資で訪れる外国	拡大を図りま 弧を活用す 人観光客の							
直接目標	市内への集習	市内への集客及び滞在を増加させる										

成	果指標やその他成果などの状況と成果の	分析						
	実施計画に位置付けた指標名(指標の説明)	現状値(年度)	目標·実績	H28年度			H29年度	単位等
		1 504	目標値@	1,597		1,646		万人
1	工安就儿他议》中问就儿智数	1,304	実績値b	1,549			1,565	表記)
'	指標の主要観光施設からの報告値等の集計	H26	達成率(b/a)	97.0%			95.1%	1
	説明	1120	指標達成度 ※1	b				増減
	宿泊施設の年間宿泊客数	178						万人
2		1,0						表記)
	指標の市内主要宿泊施設の集計に基づく市内全体の宿泊施設の推計値	H26						7
	高光明							増減 万人
3	宿泊施設の年間宿泊客数【外国人】						(「年」	
								表記)
		H26						増減
	MAN MANAGEMENT							追減
	工場夜景・産業観光ツアーの年間参加者数	6,600		*		· ·		(「年」
4	北原の			-,			-,	表記)
	指標の	H26						増減
	数値で把握できる補足指標 (指標の説明)	<u> </u>	実績	H27年度	H284	年度	H29年度	単位
1	指標の		実績					
	説明							
2			宝结					
	指標の 説明		天祖					
	2	実施計画に位置付けた指標名(指標の説明) 主要観光施設の年間観光客数 指標の説明 主要観光施設からの報告値等の集計 3 宿泊施設の年間宿泊客数 4 宿泊施設の年間宿泊客数【外国人】 4 宿泊施設の年間宿泊客数【外国人】 4 工場夜景・産業観光ツアーの年間参加者数 4 工場夜景・産業観光ツアーの季間参加者数 4 指標の説明 5 指標の説明 1 指標の説明	1 主要観光施設の年間観光客数 1,504 指標の説明 主要観光施設からの報告値等の集計 H26 2 宿泊施設の年間宿泊客数 178 3 宿泊施設の年間宿泊客数【外国人】 15 指標の説明 市内主要宿泊施設の外国人宿泊客数の集計に基づく市内全体の宿泊施設の推計値 H26 4 工場夜景・産業観光ツアーの年間参加者数 6,600 4 工場夜景・産業観光ツアー及び産業観光ツアーの参加者数の集計 H26 数値で把握できる補足指標(指標の説明) 1 指標の説明 2 指標の説明	実施計画に位置付けた指標名(指標の説明) 現状値(年齢) 目標・実験目標(値) 1 主要観光施設の年間観光客数 1,504 目標値② 実績値⑥ 実績値⑥ 達成率(⑥/②) 指標達成度※1 2 指標の説明 主要観光施設からの報告値等の集計 H26 指標達成度※1 指標の説明 市内主要宿泊施設の集計に基づく市内全体の宿泊施設の推計値 H26 達成率(⑥/②) 指標達成度※1 3 宿泊施設の年間宿泊客数【外国人】 15 目標値② 実績値⑥ 実績値⑥ 実績値⑥ 実績値⑥ 実績値⑥ 実績値⑥ 実績値⑥ 実績値⑥	実施計画に位置付けた指標名(指標の説明) 現状値(#申) 目標・実績 H28年度 1 主要観光施設の年間観光客数 1,504 目標値② 1,597 実績値⑤ 1,549 達成率(⑥/②) 97.0% 指標達成度 ※1 b 1 指標の説明 主要観光施設からの報告値等の集計 H26 指標達成度 ※1 b 目標値② 97.0% 指標達成度 ※1 b 1 指標の説明 市内主要宿泊施設の集計に基づく市内全体の宿泊施設の推計値 別明 市内主要宿泊施設の集計に基づく市内全体の宿泊施設の推計値 別明 泊施設の年間宿泊客数[外国人] H26 指標達成度 ※1 b 目標値② 99.5% 指標達成度 ※1 b 1 指標の 泊施設の年間宿泊客数[外国人] 15 目標値② 16 実績値⑥ 20 達成率(⑥/②) 125.0% 指標達成度 ※1 a 16 実績値⑥ 5,253 接慮⑥ 7,000 実績値⑥ 5,253 接慮⑥ 5,253 持慮⑥ 5,253 接慮⑥ 5,253 接⑥ 5,2	実施計画に位置付けた指標名(指標の説明) 現状値(年起) 目標・実績 H28年度 1 主要観光施設の年間観光容数 1,504 目標値② 1,549 指標の説明 主要観光施設からの報告値等の集計 H26 遺成率(⑤/②) 97.0% 指標の説明 主要観光施設からの報告値等の集計 B 184 指標の説明 市内主要宿泊施設の年間宿泊客数 H26 指標値③ 183 達成率(⑥/②) 99.5% 指標達成度※I b 1 指標の市内主要宿泊施設の集計に基づく市内全体の宿泊施設の推計値 H26 遺成率(⑥/③) 99.5% 指標の市内主要宿泊施設の外国人宿泊客数(外国人】 15 目標値② 20 連成率(⑥/②) 125.0% 指標達成度※I a 日標値② 7,000 実績値⑤ 5,253 遺成率(⑥/②) 75.0% 指標の 説明 工場夜景ツアー及び産業観光ツアーの参加者数の集計 H26 接続を定(⑥/②) 75.0% 指標達成度※I C 数値で把握できる補足指標(指標の説明) 実績 H27年度 H284 1 指標の 説明 実績 H27年度 H284	実施計画に位置付けた指標名(指標の説明) 現状値(年起) 目標・実績 H28年度 主要観光施設の年間観光客数 1,504 目標値② 1,597 指標の 説明 主要観光施設からの報告値等の集計 H26 遠成率(b)/② 97.0% 2 宿泊施設の年間宿泊客数 178 目標値② 184 3 市内主要宿泊施設の集計に基づく市内全体の宿泊施設の推計値 H26 遺標値② 183 3 市内主要宿泊施設の集計に基づく市内全体の宿泊施設の推計値 H26 計構達成度※ b 4 工場夜景・産業観光ツアーの年間参加者数 H26 遺標値② 7,000 実績値⑤ 125.0% 指標の 説明 工場夜景ツアー及び産業観光ツアーの参加者数の集計 H26 遺標値② 7,000 実績値⑥ 5,253 遺成率(b)/② 75.0% 指標の 説明 工場夜景ツアー及び産業観光ツアーの参加者数の集計 H26 達成率(b)/② 75.0% 指標の 説明 工場夜景ツアー及び産業観光ツアーの参加者数の集計 大銀 中26 実績 H27年度 H28年度 1 指標の 説明 実績 H27年度 H28年度 実績	実施計画に位置付けた指標名(指標の説明) 現状値(年起) 目標・実績 H28年度 H29年度 1 主要観光施設の年間観光客数 1,504 目標値② 1,597 1,646 指標の設明 主要観光施設のらの報告値等の集計 H26 遺産成率(b/②) 97.0% 95.1% 宿泊施設の年間宿泊客数 178 実績値D 184 187 実績値D 183 190 達成率(b/②) 99.5% 101.6% 指標の設明 市内主要宿泊施設の集計に基づく市内全体の宿泊施設の推計値 H26 遺標値② 16 17 指標の説明 市内主要宿泊施設の外国人宿泊客数(外国人】 15 目標値② 16 17 実績値D 20 22 22 22 遺標の設明 市内主要宿泊施設の外国人宿泊客数の集計に基づく市内全体の宿 設施設の推計値 H26 遺標企図を 1 25.0% 129.4% 指標の設明 工場夜景・産業観光ツアーの年間参加者数 指標の設明 6,600 実績値D 7,000 7,200 実績 大級企業を使D/② 75.0% 95.8% 指標の設明 工場夜景ツアー及び産業観光ツアーの参加者数の集計 実績 日標値② 1 26 指標でD/② 指標達の 1 26 2 実績値D/② 75.0% <t< td=""></t<>

定性的な成果

ついて記載)

で発現した数値では 週れない効果などに 場夜景観光の取組は、平成20年度から全国に先駆けて川崎市がはじめ、他都市にも少しずつ波及し、平成23年2月に、川崎市、四日市で発現した数値では 市、室蘭市、北九州市の4都市で「全国工場夜景サミット」を開催した。現在、「全国工場夜景サミット」への参加は10都市まで広がっており、工 測れない効果などに 場夜景観光という取組が全国的に認知度が高まっており、一定の効果があったものと考えます。

指標等の 成果分析

- |●観光客数は、平成29年10月「カルッツかわさき」の完成により微増していますが、一部施設の長期休館等の要因により、全体としては目標値 まで達していません。

を含めて記載)

以外にも横浜や東京を発着とするツアーが多く造成されていることから、実際の参加者数は大幅に上回っていると考えます。

3	施策を構成す	る主	<u>な</u> 事務事業の評価						
	事務事業コード				事業費	(千円)	事業の		
番	争伤争未→ 下	#-2	事務事業の概要		予算額	決算額	達成度	施策へ	今後の
号		ス分類	(簡潔に記載)	主な取組の実績		H27年度		の貢献	事業の 方向性
	事務事業名			H28年度 H29年度(※決算額は見込)			<i>1</i> 92	万间注 	
	40902010			●「新・川崎観光振興プラン」に基づく施策の推進及び進捗状況	62,149		/		
1		その他	情報発信や観光案内機能の充実等の取 組を進めるとともに、外国人観光客の誘客 を促進します。	の検証 ●効果的な情報発信の充実 ●川崎駅北口行政サービス施設「かわさききたテラス」の供用開	57,111	53,961	3	A 貢献して いる	Ⅲ 事業規模 拡大
	観光振興事業		と、促進しよう。	始 ●外国人観光客の誘客促進	68,938	94,591	3	0.00	JAZ
	40902020		川崎産業観光振興協議会、市観光協会、	●産業観光ツアーの実施(7回実施)、及び工場夜景ツアー「川 崎市民150万人突破記念クルース」を実施	9,600	9,600		А	ш
2	産業観光推進事業	その他	商工会議所等の関係機関と一体となって、本市の産業観光の推進及び認知度向	両日は150万人矢吸配品グルー人」を美旭●中国、九州等での修学旅行誘致活動(3回実施)●外国人向け「川崎の観光モデルコース」としての宿泊・日帰り	8,400	8,400	3		事業規模 拡大
	在不成儿正是		上を図ります。	の開発(2コース)	10,950	10,950	3		
	40902030		川崎の夏の風物詩として親しまれている		81,345	81,270			_
3	市制記念花火大会事		火大会を開催することで、「ふるさと川 ●	●雷雨による荒天のため中止(協賛席販売数5,684席) ●次年度以降の安全な開催に向けた検討の実施	81,201	81,173	4		Ⅱ 改善しな がら継続
	業 		の創造をめさします。		81,201	81,193	3		
	40902040		公園との一体感を感じられる空間づくりや		2,473,554	2,040,386		B やや貢献 している	π
4	競輪場整備			●外構整備工事及び既存施設除却工事の実施・正門棟の建築 ●老朽化設備の更新工事及び維持修繕工事の実施	1,082,574	982,749	3		改善しな
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		正を描ていているか。		875,478	364,967	4		
	40902050		競輪の効率的な事業運営を推進し、事業	●全国初のGⅢナイター開催等、効果的・効率的な運営方法による競輪の開催	18,144,749	15,537,789		В	п
5	競輪開催·運営	その他		●新規ファンの獲得に向けた、家族連れを対象としたバンク内 観戦や競輪初心者教室をはじめとしたファミリー向けイベント等 の実施	21,326,342	20,886,181	3	やや貢献	u 改善しな がら継続
			をめ きします。	●特別競輪の誘致活動の実施	20,566,286	16,033,430	3		
6									
_									
7									

4 施策の遺	建成状況		
	区分	選択区分	達成状況区分を選択した理由
達成状況 (指標等の成果を中 心に施策を構成す る事務事業の評価 等から総合的に評	A. 順間に推移した (目標を達成した) B. 一定の進捗があった (目標未達成のものがあるが 一定の進捗があった) C. 進捗が遅れた (現状を下回るものが多くあった) D. 進捗は大幅に遅れた (現状を大幅に下回った)	В	●配下の事務事業の取組は、掲げた目標どおり進捗しました。 ●外国人の年間宿泊客数は、海外での展示会出展や、海外メディア招請等の外国人観光 客の誘客促進に向けた取組を推進したことにより、第1期実施計画の目標を達成しました。 ●競輪場施設の再整備については、一部入札不調により工期に変更が生じたため、年度 内に整備を完了させることができませんでした。

5 今後の方	5 今後の方向性												
	区分	選択区分	「事業構成の妥当性を選択した理由」及び「今後の方向性」										
今後の 事業構成の 妥当性 (手段は妥当か?)	I. 効果的な事業構成である (現状のまま継続する) Ⅲ. 概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある) Ⅲ. あまり効果的な事業構成でない (見直し等の余地が大きい) Ⅳ. 事業構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	П	●観光振興事業及び産業観光推進事業については、年間の宿泊客数や観光客数がほぼ 目標どおり達成しており、一定の効果があったと考えていることから、さらに、効果的な観光 情報の発信などを行っていきます。 ●競輪事業については、平成29年度も一般会計に2.5億円繰り出す予定で施策に貢献しています。今後も事業の効率化や売上向上のための各種施策について改善を行いながら 推進していきます。										

事業の	概引	-							
			事務事業コード			事務事業名			実施計画の記載
	事務	事業	40902010	観光振興事	業				有
			所属コード			所	属名		
	担	当	283350	経済労働局産	業振興部観光プロ	コモーション推進課			
		un aa	事業開始年度	事業終了年度	事務・サービ	ス等 分類10	(市民サービス等) 分類		内部事務)
	実施	期间	_	-	一 の分類 一				
	実施	形態	☑ 市が直接実施	☑ 一部委託	□ 全部委託	託·指定管理 [」 ボランティア等と	の協働 ☑ そ	の他
	実施	根拠	□ 国・県の制度	□ 国・	県の制度+市独自	自の制度 🗹	市独自の制度		
	(法令	҈•要綱等)							
総合計画	と連	携する計画等	国際施策推進プラン 興プラン	v、まち・ひと・しごとf	割生総合戦略、産	業振興プラン、情幸	最化推進プラン、文化	比芸術振興計画、新	断・かわさき観光振
行財政	改革:	プログラムに		改革項目			調	題名	
関	連する	課題名							
		年度	H27年	度	H28	年度			
		十段	予算額	決算額	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額(見込)
		事業費 A	62,149	60,956	54,427	53,961	54,427	68,938	94,591
予決算	財	国庫支出金	0	-	0	-	0	0	-
(単位:	源	市債	0	-	0	-	0	0	-
千円)	千円) 内 その他特財		486	-	486	-	486	833	-
	訳	一般財源	61,663	-	53,941	-	53,941	68,105	-
		人件費 [※] B			28,408	28,408	35,360	35,360	35,360
	i	総コスト(A+B)			82,835	82,369	89,787	104,298	129,951

※ 人件費は、各年度の予算における職員1人当たり人件費に、各年度の人工を乗じて算出した参考値です。

3

実施結果(Do)

上記「当該年度の

取組内容」に対する達成度

計画(Plan)											
	政策	戦略的なシティプロモーション									
政策体系	施策	川崎の特性を活かした観光の振興									
	直接目標	市内への集客及び滞在を増加させる									
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	観光客等										
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	市内への集客を推	への集客を推進し地域経済を活性化します。									
	各種観光事業や多 実施します。	重観光事業や多様な広報戦略に取り組むとともに、観光協会の組織・活動に対する支援を行うなど、本市の観光施策を効果的に 他します。									
当該年度の取組内容 (第1期実施計画に記載されている具	②効果的な情報発)ける魅力発信施設の供用開始 誘客促進									
当初計画からの変更箇所 (上記計画に記載されている内容から変更となる取組)											

1. 目標を大きく上回って達成

2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり

「 <u>数</u>	記「当該年 直等でよ 」 できる取	F度の取 り具体的 <u>組</u> 」、又)実績等 組内容」に対し、 』に実績を示すこ は「 未達成部分 」 に た部分 」を記載)	目標どおり達成できました。 ①は概ね施策を推進 ②はホームページ内容の充実及び工場 ③は川崎駅北口行政サービス施設「かれ ④は誘客促進の取組を概ね実施 ⑤は予定どおり実施、川崎市民150万人	っさき きたテラス」が2月			İ		
指	票分類	娄	枚値で事業の	実績・効果等を把握できる指標	(指標の説明)	目標·実績	H27年度	H28年度	H29年度	単位
1	成果	主要観	見光施設の年間 「	間観光客数		目標		1,597	1,646	万人(「年」
Ľ	指標	説明	主要観光施設からの	報告値等の集計		実績	1,530	1,549	1,565	表記)
2	成果	宿泊旅	施設の年間宿泊	客数		目標		184	187	万人
_	指標	説明	市内主要宿泊施設の	集計に基づく市内全体の宿泊施設の推計値		実績	181	183	190	表記)
3	成果	宿泊旅	施設の年間宿泊	自客数【外国人】		目標		16	17	万人
3	指標	説明	市内主要宿泊施設の)外国人宿泊客数の集計に基づく市内全体の宿泊施設	の推計値	実績	20	20	22	(「年」 表記)
4						目標				
4		説明				実績				

4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った

評価(の	Check)												
(国・県・他団体の 制緩和	社会環境の変化 動向や法改正、規 知など)											万人で、2015年(平成27年) 向を維持しています。	の1億9,297万
事業の見直	し・改善内容	☑ 実施	(直近) I	H 27	年度		卡実施						
※過去に見	見直し・改善内容 直した履歴も記載 場合は記載	H28年度:新· H27年度:観: H26年度:観:	光振興プラ	ンに基づ	(各事業の	の取組を	評価し、	次年度0	り取組に	に反映し	ました。	吹しました 。	
			評化	面項目								評価	
	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環	境の変化等に	こより、事業	に対する	るニーズが	薄れて	いないか	?				a. 薄れていない b. 薄れている	а
必要性	必要性									a. ない b. ある	b		
	評価の理由	2020年(平成	32年)東京	オリンピ	ック・パラリ	Jンピッ _?	7開催に「	句け、国	内外の	観光に関	するニー	ーズは増加する見込みです	•
有効性	【成果】 活動結果(活動打	指標等)に対し 「	事業の成男	果(成果排	指標等)は	順調に_	上がってし	いるか?				a. 上がっている b, 徐々に上がっている c. 上がっていない	b
	評価の理由	国外からの宿	『泊者数が』	順調に増	自加している	ます。今	後も、国気	外からの	観光、	宿泊に対	するに	対するニーズは増加する見	込みです。
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	用】 定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか?							a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b			
効率性		F法等の見直し】 D成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによ 改善の可能性があるか?						a. 可能性はない b. 可能性はある					
刈牛は		【の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部 哉員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか?							f内部	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b		
	評価の理由	市が直営で行っている業務の一部を川崎産業観光振興協議会や川崎市観光協会に移行す。							こ移行す	ーーー 「ることによりコストの削減が	 が見込まれま		
	貢	貢献度区分 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区							左記区	分を選んだ理由			
施策への 貢献度	A. 貢献している B. やや貢献し C. 貢献の度合	ている	Α		実施してい につながっ			人誘客事	業、ホ-	-ムペー	ジ・冊子	等による情報発信等が川崎	奇の観光魅力

改 善(Action)											
	方向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性								
今後の事業 の方向性	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了		2020年(平成32年)東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、インバウンド施策等の事業規模の拡大が 見込まれます。								

事業の	概	E								
			事務事業コード			事務事業名			実施計画の記載	
	事務	事業	40902020	産業観光推	進事業				有	
			所属コード			所	属名			
	担	当	283350	経済労働局産	産業振興部観光プロ	美振興部観光プロモーション推進課				
			事業開始年度	事業終了年度	事務・サービ	ス等 分類10	市民サービス等)	分類2(内部事務)	
	美施	期間	_	_	- の分類 —					
	実施	形態	☑ 市が直接実施	☑ 一部委託	£ □ 全部委割	光・ 指定管理 [] ボランティア等と	の協働 🗸 そ	の他	
	実施	根拠	□ 国・県の制度	□国・	県の制度+市独自	の制度 🗸	市独自の制度			
	(法名	う・要綱等)								
総合計画	画と連	携する計画等	国際施策推進プラン	、産業振興プラン、	文化芸術振興計画	画、新・かわさき観:	光振興プラン			
行財政	改革	プログラムに		改革項目			詞	題名		
関	連する	5課題名								
		年度	H274	羊度	H284	丰度		H29年度		
		十尺	予算額	決算額	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額(見込)	
		事業費 A	9,600	9,600	8,400	8,400	9,400	10,950	10,950	
予決算	財	国庫支出金	0	-	0	-	0	0	-	
(単位:	源	市債	0	-	0	-	0	0	-	
千円)	内	その他特財	0	-	0	-	0	0	_	
	訳	一般財源	9,600	_	8,400	-	9,400	10,950	-	
		人件費 [※] B			10,685	10,685	18,304	18,304	18,304	
		総コスト(A+B)			19,085	19,085	27,704	29,254	29,254	
J	工(単	単位:人)			1.2	:6		2.2		
ソール連け	성 도 대	まの又答にわけて 笠	# 昌1 少 た	リー タケ中のして	ナモドナ佐山口 + 全	土は マナ	•			

※ 人件費は、各年度の予算における職員1人当たり人件費に、各年度の人工を乗じて算出した参考値です。

実施結果(Do)

計 画(Plan)						
	政策	戦略的なシティプロモーション				
政策体系	施 策 川崎の特性を活かした観光の振興					
	直接目標	市内への集客及び滞在を増加させる				
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	観光客等					
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	本市、川崎産業観	光振興協議会、川崎市観光協会、川崎商工会議所等が一体となり川崎の産業観光の推進を図ります。				
事業の内容 (どういった業務内容で、どのような 手段で実施しているか)	市内に多数存在しを推進します。	ている生産施設や産業遺産、先端技術施設、研究開発施設などの地域資源を効果的に活用し、産業観光の取組				
当該年度の取組内容 (第1期実施計画に記載されている具 体的な 当該年度 の取組)						
当初計画からの変更箇所 (上記計画に記載されている内容から変更となる取組)	④「外国人向け川川	奇寄り道ツアー」の開発【新規】				

取			年度の する達成度	3	1. 目標を大きく。 2. 目標を上回っ 3. ほぼ目標どお	て達成		標を下回っ 標を大きく				
「 <u>数</u>	記「当該 ^年 値等でよ できる取	F度の取り リ具体的 <u>組</u> 」、又()実績等 組内容」に対し、 に実績を示すこ よ「 未達成部分 」 た部分」を記載)	目標どおり達成できる ①産業観光ツアーは ②中国、九州等、修う ③市民等で構成され ④外国人向け「川崎の	7回実施、工場夜景 学旅行誘致活動を3 る川崎の産業観光	3回実施 を支援する会によ	る産業	観光及びエ	場夜景ツアーで		で実施	
指	標分類	娄	女値で事業の	実績・効果等を把	握できる指標	(指標の説明)	目標·実績	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	成果	工場夜	₹景・産業観光	ツアーの年間参加	者数			目標		7,000	7,200	人 (55.
	指標	説明	工場夜景ツア一及び	産業観光ツアーの参加者数の	の集計			実績	5,392	5,416	6,901	- (「年」 表記)
2								目標				
		説明						実績				
								目標				
3		説明						実績				
								目標				
4		説明						実績				

評価(の	check)									
(国・県・他団体の 制緩和	社会環境の変化 動向や法改正、規 ロなど)						(入込観光客)の推計延人数は1億9 录(※平成9年から集計)しており、増加)1億9,297万	
事業の見直	し・改善内容	実施	(直近)	H 28 4	年度		卡実施			
※過去に見	見直し・改善内容 直した履歴も記載 場合は記載	H27年度: 観:	光振興プラ	ンに基づく	〈各事業の	取組を	事業の取組を評価し、次年度の取組に 評価し、次年度の取組に反映しまし 評価し、次年度の取組に反映しまし	<i>t</i> =。		
			評価	西項目				評価		
	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか? a. 薄れていない b. 薄れている									
必要性	【市が実施する必 他都市で、民間等		是供している	る事例がな	ないか?			a. ない b. ある	b	
	評価の理由 2020年(平成32年)東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、国内外の観光に関する市民ニーズは増加する見込みです。									
有効性	【成果】 活動結果(活動持	指標等)に対し -	事業の成身	具(成果指	(標等)は順	頁調に_	a. 上がっている b, 徐々に上がっている c. 上がっていない	b		
	評価の理由	民間による耶	り組みも含	めて、産	業観光、コ	□場夜貨	景等のツアー開催数が増加していま	f .		
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	者制度など、	実施手法に	ついて民	:間活用に	よりコス	ストを削減できる余地があるか?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b	
効率性									b	
刈平は	【 質の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部 b. 余地はある c. 既に実施済み									
	評価の理由	市が直営で行す。	テっている美	美務の一部	部を産業額	光振卵	関協議会や川崎市観光協会に移行す	ることによりコストの削減が見込む	まれていま	
	貢	献度区分					上記「有効性」の成果等を踏まえ左	記区分を選んだ理由		
施策への 貢献度										

改善(A	ction)		
	方向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
今後の事業 の方向性	I. 現状のまま継続 Ⅲ. 改善しながら継続 Ⅲ. 事業規模拡大 Ⅳ. 事業規模縮小 Ⅴ. 事業廃止 Ⅵ. 事業終了	І Ш	2020年(平成32年)東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、インバウンドを含む産業観光推進事業の規模の拡大が見込まれます。また、開発した外国人観光客向け「川崎の観光モデルコース」を旅行会社等ヘプロモーションを行います。

	事業の	料	Ē								
ı				事務事業コード			事務事業名			実施計画の記載	
	-	事務	事業	40902030	市制記念花	火大会事業		有			
				所属コード				所属名			
		担	当	283350	経済労働局産	業振興部観光プロ	課				
			.u.a.mm	事業開始年度 事業終了年		事務・サービ	ス等 分類	1(市民サービス等)	分類2(内部事務)	
	実施期間		期間	_	_	の分類		イベント等		_	
	実施形態		形態	□ 市が直接実施	☑ 一部委託	□ 全部委託	f·指定管理	□ ボランティア等と	 の協働 □ そ	の他	
	実施根拠			□ 国・県の制度	□ 国・	県の制度+市独自	の制度	市独自の制度			
	(法令•要綱等)										
	総合計画と連携する計画等		産業振興プラン、文	化芸術振興計画、親	折・かわさき観光振	興プラン					
			プログラムに		改革項目			Ħ	展題名		
	関連	重する	詩題名								
			年度	H27年	度	H28年度		H29年』		复	
			十及	予算額	決算額	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額(見込)	
			事業費 A	81,345	81,270	81,201	81,1	73 81,201	81,201	81,193	
	予決算	財	国庫支出金	0	-	0		- 0	0	_	
	(単位:	源	市債	0	-	0		- 0	0	_	
	千円)	内	その他特財	0	-	0		- 0	0	_	
		訳	一般財源	81,345	-	81,201		- 81,201	81,201	_	
			人件費 [※] B			9,752	9,7	10,650	10,650	10,650	
		i	総コスト(A+B)			90,953	90,92	5 91,851	91,851	91,843	
			单位:人)			1.1			1.28		
γ.	人件書け る	医存苗	Fの予笛における時	は員1人当たり人件書	に 冬午中の してき	□毎 で質出 た糸	孝値です				

実施結果(Do)

計画(Plan)									
	政策	戦略的なシティプロモーション							
政策体系	施 策 川崎の特性を活かした観光の振興								
	直接目標	市内への集客及び滞在を増加させる							
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	主に川崎市民								
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	花火大会を安全に	楽しんでもらうとともに、「ふるさと・川崎」の意識を醸成しながら、市内観光産業の活性化を図ります。							
事業の内容 (どういった業務内容で、どのような 手段で実施しているか)	花火を楽しんでもら ます。	火を楽しんでもらえるよう打上内容等に工夫を凝らすとともに、事故のないよう観客動線の確保や警備を充実させて安全に開催し す。							
当該年度の取組内容 (第1期実施計画に記載されている具 体的な 当該年度 の取組)		親客の安全確保及び継続可能な花火大会の企画の立案・実施(有料協賛席販売数:5,250席以上) 民間事業者との連携による安全で楽しい大会の運営計画の策定と実施							
当初計画からの変更箇所 (上記計画に記載されている内容から変更となる取組)									

取			年度の する達成度	3	1. 目標を大きく 2. 目標を上回っ 3. ほぼ目標どお	て達成		標を下回っ 標を大きく				
「 <u>数</u>	取組内容の実績等 (上記「当該年度の取組内容」に対し、 「教値等でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」 若しくは「より達成できた部分」を記載)											た、事
指	課分類	数	対値で事業の	実績・効果等を把	提できる指標	(指標の説明))	目標·実績	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	活動	有料協	賛席チケット 原	坂売数				目標		5,200	5,250	-
'	指標	説明	花火大会当日の会場	内有料協賛席チケットの販売	ē 数			実績	5,137	2,822	5,684	席
2								目標				
		説明						実績				
3								目標				
] 3		説明						実績				
								目標				
4		説明						実績				

評価(Check)										
(国・県・他団体の	事業を取り巻く社会環境の変化 (国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) 東京会場(左岸側)は再開発の完成によりますます観客が増加傾向にあり、周辺環境保全や安全に最大限留意しつつ、対応を図っていく必要があります。										
事業の見直	iし・改善内容	☑ 実施	(直近)	H 27	年度	□ ;	未実施				
※過去に見	見直し・改善内容 見直した履歴も記載 る場合は記載						ついては観客の立ち入りを禁止していまし その一部に上野毛B地区有料協賛席を業		対応するた		
			評	面項目				評価			
	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環	a. 薄れていない b. 薄れている	a								
必要性	【市が実施する必 他都市で、民間等	a. ない b. ある	b								
	評価の理由						からも明らかです。遊園地等の囲まれたが よる花火大会は警備や交通規制への課				
有効性	【成果】 活動結果(活動	指標等)に対し ・	事業の成身	艮(成果排	旨標等)は川	頂調に.	上がっているか?	a. 上がっている b, 徐々に上がっている c. 上がっていない	a		
	評価の理由	協賛席の販売	売数増など	、順調に	成果が上た	がってし	います。				
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	者制度など、	実施手法に	ついて国	民間活用に	よりコス	ストを削減できる余地があるか?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	C		
効率性	【事業手法等の見事業の成果を維 る事務改善の可能	ー・ 持しながら、封		ᡶ様の見	直しなどに	よる経	費削減や事務手続きの見直しなどによ	a. 可能性はない b. 可能性はある	b		
刈华注	【質の向上】 事業を適正な(近 (職員・組織)の質					用で行	いながら、市民サービスや市役所内部	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	С		
	評価の理由						型営主管が行うことでリスクを取らないで4 見直して効率的な運営をしています。	双益を得る枠組みで運営してい	ます。事業		
	黄	献度区分		上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由							
					効率性の高い事業執行で、市民の期待が高い事業を市が主体となってから40年余開催しており、川崎の 特性を活かした観光の推進に寄与しています。						

改善(A	ction)	
	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
今後の事業 の方向性	I. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 VI. 事業終了	同時開催している、世田谷区たまがわ花火大会会場において落雷により負傷者が出たことから、安全対策 を両市区で協議し、雷が少ない10月開催にするとともに、関係部署の協力を得て、救護班の体制強化を図り ます。

	事業の	概引	Ę								
		<u> </u>		事務事業コード			事系	务事業名			実施計画の記載
	•	事務	事業	40902040	競輪場整備	İ					有
		ı.	ALE	所属コード				所	属名		
		担	当	286100	経済労働局公	公営事業部総務課					
			#n 88	事業開始年度	事業終了年度	事務・サービ	ス等	分類1(市民サービス等)	分類2(内部事務)
	実施期間		期间	_	_	の分類		施設	との管理・運営		_
実施形態			形態	☑ 市が直接実施	☑ 一部委託	□ 全部委割	託·指定管	管理 [〕 ボランティア等と(の協働 口 そ	の他
実施根拠			根拠	□ 国・県の制度	□ 国・	県の制度+市独自	自の制度		市独自の制度		
		(法令	҈•要綱等)	富士見周辺地区整備	#基本計画、川崎殼	竞輪場再整備基本	計画				
	総合計画	iと連	携する計画等	産業振興プラン、スァ	ポーツ推進計画、新	f·かわさき観光振	興プラン	,			
	行財政改革プログラムに				改革項目				課	題名	
	関連	重する	課題名	2(8) 特別会計の	健全化			1 競輪事業	業特別会計の健全化	とに向けた取組の	准進
			年度	H27年	度	H28年度				H29年度	
			干及	予算額	決算額	予算額	決	算額	計画事業費	予算額	決算額(見込)
			事業費 A	2,473,554	2,040,386	1,082,574		982,749	853,606	875,478	364,967
	予決算	財	国庫支出金	0	-	0		-	0	0	-
	(単位:	源	市債	0	-	0		-	0	0	-
	千円) 内 その他特財		2,323,554	_	1,082,574		_	853,606	875,478	_	
		訳	一般財源	150,000	-	0		_	0	0	_
	人件費 [※] B				10,515		10,515	9,901	9,901	9,901	
	総コスト(A+B)					1,093,089		993,264	863,507	885,379	374,868
	人	工(単	位:人)			1.2	24			1.19	
٧.	人 件 巻け 冬 年 度 の 予 質 に お け ろ 明			- タケーのして	た垂じて質 山した糸	・おはな	-			•	

計画(Plan)									
	政策	戦略的なシティプロモーション							
政策体系	施策	川崎の特性を活かした観光の振興							
	直接目標	市内への集客及び滞在を増加させる							
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	競輪場施設								
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	「公園との一体感を を行います。	F感じられる空間づくり」や「持続可能な事業運営の確立に向けた施設づくり」をメインコンセプトとした、施設の整備							
事業の内容 (どういった業務内容で、どのような 手段で実施しているか)	既存施設の設備更	崎競輪場再整備基本計画に基づき、施設の再整備に取り組みます。 死存施設の設備更新工事、維持修繕工事を実施します。 函設整備・維持管理に必要な競輪施設等整備事業基金の積立・取崩を計画的に実施します。							
当該年度の取組内容 (第1期実施計画に記載されている具 体的な 当該年度 の取組)		D外構整備工事及び既存施設除却工事の実施・正門棟の建築 ②老朽化設備の更新工事及び維持修繕工事の実施							
当初計画からの変更箇所 (上記計画に記載されている内容から変更となる取組)									

_										
取		「当該年度の と」に対する達成度	4	1. 目標を大きく 2. 目標を上回っ 3. ほぼ目標どれ		4. 目標を下回 ⁴ 5. 目標を大きく				
「 <u>数</u>	記「当該 ^会 直等でよ できる取	内容の実績等 F度の取組内容Jに対し、 <u>り具体的に実績を示すこ</u> 組」、又は「 <u>未達成部分</u> 」 達成できた部分」を記載)	施設の再整備につい を完了させることがで						じたため、 年度内]に整備
指	票分類	数値で事業の	実績・効果等を把	握できる指標	(指標の説明)	目標·実績	H27年度	H28年度	H29年度	単位
						目標				
ľ		説明				実績				
2						目標				
4		説明				実績				
3						目標				
3		説明				実績				

事業を取り巻く (国・県・他団体の	heck かままます。 社会環境の変化 動向や法改正、規 ロなど)	整備基本計画	画のコンセ	プトの実	現に向けた	、施設の収容人員や投票所の最 再整備の推進や安定的な競輪開 ることが必要です。	適化を図る必 催に向けた旅	s要があります。また、基金の範 記設の整備・補修を行うため、仕	囲内で、再 様の見直し
事業の見直	し・改善内容	☑ 実施	(直近)	H 27	年度	□ 未実施			
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載 できる場合は記載									
			評	西項目				評価	
	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環		a. 薄れていない b. 薄れている	а					
必要性	必要性 (市が実施する必要性) a. ない 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか? b. ある								a
	再整備基本計画のメインコンセプトである「公園との一体感を感じられる空間づくり」、「持続可能な事業運営の確立に向けた施設り」を行うことにより、富士見周辺地区の魅力を高め、まちづくりに貢献しています。								けた施設づ
有効性	【成果】 活動結果(活動打	指標等)に対し	事業の成児	県(成果	指標等)は』	頁調に上がっているか?		a. 上がっている b, 徐々に上がっている c. 上がっていない	b
1377312	評価の理由					図りました。また、競輪場敷地の会 を平成30年度完成のスケジュー			工事を完
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	者制度など、	実施手法に	ついて	民間活用に	よりコストを削減できる余地がある	るか?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	a
効率性	【事業手法等の見 事業の成果を維 る事務改善の可能	持しながら、契		上様の見	見直しなどに	よる経費削減や事務手続きの見し	直しなどによ	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
劝华江	「 営の向 ト] a 余地はない								b
	評価の理由	事、バンク内	広場改修コ	事、メ	インスタンド	平成35年度まで行うよう工事の『 『階内装改修工事等がありますが 行う必要があります。			
	貢	献度区分				上記「有効性」の成果等を	踏まえ左記図	X分を選んだ理由	
施策への 貢献度									

改善(A	ction)		
	方向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
今後の事業 の方向性	I. 現状のまま継続 Ⅱ. 改善しながら継続 Ⅲ. 事業規模拡大 Ⅳ. 事業規模縮小 Ⅴ. 事業廃止 Ⅵ. 事業終了	П	・再整備基本計画のコンセプトの実現に向け、引き続き、基金の範囲内で、効果的・効率的な施設となるよう、関係局や関係者等と調整を図り、仕様の見直しや整備方法の検討を行いながら事業を進める必要があります。

事業の	概引	Ę												
	— =L		事務事業コード			事務事業名			実施計画の記載					
事務事業		40902050	競輪開催・返	競輪開催·運営										
1=		所属コード		所属名										
	担当		286300	経済労働局公	経済労働局公営事業部業務課									
		un oo	事業開始年度	事業終了年度	事務・サービ	ス等 分類1	市民サービス等)	分類2(内部事務)					
	実施期間		_	_	の分類		その他	_						
	実施	形態	☑ 市が直接実施	☑ 一部委託	□ 全部委託	:指定管理 [コ ボランティア等との	の協働 口 そ	の他					
	実施	根拠	☑ 国・県の制度 □ 国・県の制度+市独自の制度 □ 市独自の制度											
	(法令	ì•要綱等)	自転車競技法											
総合計画	総合計画と連携する計画等		産業振興プラン、新・かわさき観光振興プラン											
行財政	改革.	プログラムに		改革項目			課題名							
関連	車する	課題名												
		年度	H27年	度	H28年	F度	H29年度							
		十尺	予算額	決算額	予算額	決算額	計画事業費	予算額	決算額(見込)					
		事業費 A	18,144,749	15,537,789	21,326,342	20,886,181	17,246,600	20,566,286	16,033,430					
予決算	財	国庫支出金	0	-	0	-	0	0	-					
(単位:	源	市債	0	-	0	-	0	0	-					
千円)	内	その他特財	18,144,749	-	21,326,342	-	17,246,600	20,566,286	-					
	訳	一般財源	0	_	0	_	0	0	_					
	人件費 [※] B				118,635	118,635	102,003	102,003	102,003					
	i	総コスト(A+B)			21,444,977	21,004,816	17,348,603	20,668,289	16,135,433					
人	工(単	i位:人)			13.9	9		12.26						

※ 人件費は、各年度の予算における職員1人当たり人件費に、各年度の人工を乗じて算出した参考値です。

2

3

説明

説明

計画(Plan)									
	政 策	戦略的なシティプロモーション							
政策体系	施策	川崎の特性を活かした観光の振興							
	直接目標	市内への集客及び滞在を増加させる							
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	競輪場施設、競輪	場来場者							
		競輪の効率的な事業運営を推進し、事業の収益性を高めることにより、安定的に一般会計への繰出を行います。競輪の魅力をア ピールすることで誰もが楽しめる競輪場を目指します。							
(どういった業務内容で、どのような	スの向上などを通り	享入した包括的な業務委託により、柔軟かつ効果的・効率的な事業運営によるトータルコストの削減、ファンサービ じた来場者数・車券売上の増進、既存施設の有効活用による収入増、市民利用・多目的利用の一層の推進を図 果的・効率的な実施及び市民に親しまれる競輪場の確立を目指します。また、特別競輪の誘致活動を推進します。							
(第1期実施計画に記載されている具		な運営方法による競輪の開催 ールズケイリンやバックヤードツアー等の実施による新規ファンの獲得に向けた取組の推進 活動の実施							
当初計画からの変更箇所 (上記計画に記載されている内容から変更となる取組)									

実施結果(Do) 1. 目標を大きく上回って達成 4. 目標を下回った 上記「当該年度の 2. 目標を上回って達成 5. 目標を大きく下回った 取組内容」に対する達成度 3. ほぼ目標どおり 目標どおり達成できました。 ① 今年度から導入した包括的な業務委託により、事業の効率化を図るとともに各種サービス面の充実を図り、効果的な運営を行い ① 今年度から導入した己荘的な業務会託により、事業の効率化を図るととも、合種サーニへ周の元夫で図り、効果のは連合で1」いました。また、全国で初めてGⅢをナイターで開催し収益向上を図りました。さらに、他場の昼間開催と重ならないよう本場ナイター発走時刻の調整を行うとともに、他場の状況や売上分析等も行い、効果的かつ収益性の高い日程で開催しました。 ② 来場した家族連れを対象にしたバンク内観戦や競輪初心も教室の開催を行いました。また、各競輪場の食材を使用したバーベースでは、また、人の発売する。また、人の表現が表現っていませた。 取組内容の実績等 (上記「当該年度の取組内容」に対し 「数値等でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」 キュー、お菓子つかみ取り、花火コーナーの設置など新たなファミリー向けのイベントを実施したことにより競輪場のPR及び新規ファ 若しくは「より達成できた部分」を記載) ン獲得につなげることができました。 ③ 平成31年度特別競輪開催に向け開催申請資料の提出及び競輪関係団体に対しPRを行いました。 指標分類 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) 目標·実績 H27年度 H28年度 H29年度 単位 ・般会計への繰出金 目標 1.7 1.9 成果 億円 指標 説明 一般会計への繰出額を増加させるために様々な売上向上策や経費削減策に取り組む必要があります。 実績 1.3 1.7 2.5

目標

実績 目標

実績

評価(Check)													
(国・県・他団体の	社会環境の変化 動向や法改正、規 和など)	趣味やレジャ 全国競輪施行 の動向を注視	亍者協議会	の通知等	により相談	などによ 炎者窓!	り車券 コ設置等	売上額(ま、減少 ンブル	〉傾向が 等依存症	続いていた対策を	ます。 実施しました。 *	今後も I R法 <i>の</i>	法整備など
事業の見直	し・改善内容	☑ 実施	☑ 実施 (直近) H 29 年度 □ 未実施											
※過去に見	見直し・改善内容 直した履歴も記載 場合は記載	じめとする多 H28年度:包まい、受託事業	数の業務を 舌的な業務 者と基本協	一括して 委託の導 3定を締結	委託するを 入に向け おいたしまし	包括的 た準備 した。	な業務委 (仕様書	委託導入 ・募集要	の検討 要項等の	fを行い D作成、	ました。 事業者の	づくりを推進す 公募、選定、身 な存症対策を9	2約に向けた記	
	評価項目												評価	
	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環	境の変化等に	こより、事業	に対する	ニーズが氵	薄れてい	いないか	٧?				a. 薄れてし b. 薄れてし		a
必要性	【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか?										a. ない b. ある		a	
	評価の理由	競輪事業は、都道府県及び総務大臣が指定する市町村のみが実施するものであり、競輪 整備事業に充てるために繰り出しています。									事業の収益は	、一般会計へ	義務教育施設	
有効性	【成果】 活動結果(活動打	果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか?							a. 上がって b, 徐々に c. 上がって	上がっている	b			
	評価の理由	競輪場施設再整備による施設のコンパクト化、観戦環境の改善、特設競輪の誘致等の取 会計への安定的な繰出を行っています。								組と包括的な第	美務委託の導力	八により、一般		
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	里者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか?							a. 余地はた b. 余地はる c. 既に実施	ある	С			
効率性		を等の見 直し】								a. 可能性(b. 可能性(b		
刈辛 注		句上】 を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部 組織)の質の向上を図ることができる余地があるか?								设所内部	a. 余地は b. 余地は c. 既に実施	ある	b	
	評価の理由	平成29年度から包括的な業務委託を導入したことにより、効果的・効率的な事業運営をい、改善を図っていきます。									美運営を行	ーー fっているが、引	 き続き業務 <i>0</i>	
	貢	献度区分					上記「有	効性	の成果	等を踏ま	え左記	区分を選んだ理由		
施策への 貢献度		上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由 競輪事業は、昭和24年に開設してから平成28年度までに約1,280億円を一般会計へ繰り出しており、平成29年度も一般会計へ2.5億円繰り出す予定です。												

改 善(Action)											
	方向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性								
今後の事業 の方向性	I. 現状のまま継続 Ⅱ. 改善しながら継続 Ⅲ. 事業規模拡大 Ⅳ. 事業規模縮小 Ⅴ. 事業廃止 Ⅵ. 事業終了	ш	包括的な業務委託について精査を行い、引き続き、事業の効率化や売上向上のための各種施策について 改善を行い、これまで以上に「安定的な競輪事業の確立や効率的な運営」と「市民に親しまれる競輪場づく り」を推進していきます。								

	—- 444	lee T	-													
_	事業の	概号	-													
	事務事業		事務事業コード	•				事務事業名			実施計画の記載					
	•	争榜·	争耒	40902060		競馬事業の	運営			無						
			414	所属コード			所属名									
	担当		当	286100	286100 経済労働		局公営事業部総務課									
	実施期間		事業開始年度		事業終了年度	事務・サ	ービス	等 分類10	市民サービス等)	分類2(内部事務)					
			期间	_		_	ወታ			_		の他				
	実施形態		形態	□ 市が直接実施	施	□ 一部委託	□ 全部	委託•指	定管理 [〕 ボランティア等との	の協働 ☑ そ	 の他				
	実施根拠			☑ 国・県の制度 □ 国・県の制度+市独自の制度 □ 市独自の制度												
	(法令・要綱等)			地方自治法第284条第2項、競馬法												
	総合計画	iと連	携する計画等	産業振興プラン、新・かわさき観光振興プラン												
			プログラムに		改革項目	課題名										
	関連	重する	課題名													
			年度	H27年度			H28年度			H29年度						
			千段	予算額		決算額	予算額		決算額	計画事業費	予算額	決算額(見込)				
			事業費 A	0		0		0	0	0	0	0				
	予決算	財	国庫支出金	0	1	-		0	-	0	0	-				
	(単位:	源	市債	0		-		0	-	0	0	_				
	千円) 内 その他特則		その他特財	0		-		0	-	0	0	_				
		訳	一般財源	0		-		0	-	0	0	-				
		人件費 [※] B					2,	544	2,544	1,248	1,248	1,248				
			総コスト(A+B)				2,5	44	2,544	1,248	1,248	1,248				
	人	工(単	i位:人)				-	0.3			0.15	·				
×	人件費は、1	各年度	の予算における暗	員1人当たり人件	費に	、各年度の人工を	乗じて算出し	た参考値	首です。							

計 画(Plan)									
	政策	戦略的なシティプロモーション							
政策体系	施策	川崎の特性を活かした観光の振興							
	直接目標	市内への集客及び滞在を増加させる							
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	神奈川県川崎競馬	奈川県川崎競馬組合							
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	神奈川県と連携し ⁻	奈川県と連携して神奈川県川崎競馬組合の経営を安定させて、本市への配分金が繰出しできるようにします。							
事業の内容 (どういった業務内容で、どのような 手段で実施しているか)	神奈川県と共同運営することを目的に設置した神奈川県川崎競馬組合を継続的に運営します。								
当該年度の取組内容 (第1期実施計画に記載されている具 体的な 当該年度 の取組)	神奈川県との連携による神奈川県川崎競馬組合の運営								
当初計画からの変更簡所 (上記計画に記載されている内容から変更となる取組)									

実施結果(Do)

								標を大きく					
取組内容の実績等 (上記「当該年度の取組内容」に対し、 「数値等でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」 若しくは「より達成できた部分」を記載)													
L	指標	分類	娄	枚値で事業の	実績・効果等を把	握できる指標((指標の説明))	目標·実績	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	,	成果	神奈川	県川崎競馬級 □	合から本市への配	2分金の繰出し			目標		7,000	5,000	万円
	1 指標 説明 本競馬事業における収益状況に応じた、本市への配分金の繰出し額						実績	3,000	7,000	12,000	חה		
	2								目標				
	_		説明						実績				
	3								目標				
	1		説明						実績				
	4	·							目標				
	*		説明						実績				
			·				•	·	•				

評価(C	heck)									
(国・県・他団体の	社会環境の変化 動向や法改正、規 ロなど)	相談者窓口	設置等の	ギャンフ	ブル等依存痕	定対策	を実施しました。今後もIR法の	の法整備な	どの動向を注視する必要があり	ります。
事業の見直	し・改善内容	☑ 実施	(直近)	H 12	2 年度		未実施			
※過去に見	見直し・改善内容 直した履歴も記載 場合は記載	競馬事業 <i>の</i>)運営体制:	を効率位	化するため、	. 平成 ⁻	12年度より神奈川県と川崎市7	が構成団体	よとなって、一部事務組合を 設立	ひました。
評価項目										
	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環	境の変化等に	こより、事業	に対す	⁻ るニーズが	薄れて	ていないか?		a. 薄れていない b. 薄れている	а
必要性	【市が実施する必 他都市で、民間等		a. ない b. ある	а						
	評価の理由		おり、また	、競馬	己分金は、本市の義務教育施設 〈産大臣と協議して指定するも <i>0</i>					
有効性	【成果】 活動結果(活動打	果】 動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか?								a
	評価の理由	神奈川県川崎	奇競馬組合	から競	計を通じて、一般会計へ繰出し	しています。				
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか?						a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b	
効率性	【事業手法等の見 事業の成果を維 る事務改善の可能	<u>-</u> 持しながら、契		a. 可能性はない b. 可能性はある	b					
<i>划</i> 年ほ	【質の向上】 事業を適正な(過 (職員・組織)の質(役所内部	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b			
	評価の理由	神奈川県と通	 連携して、神	奈川県	ます。					
	貢	献度区分					上記「有効性」の成果等を踏	まえ左記	区分を選んだ理由	
施策への貢献度	A. 貢献している B. やや貢献し C. 貢献の度合	る ている	Α		県川崎競馬 います。	馬組合	から本市の配分金は、競輪事	業特別会記	ナを通じて一般会計へ繰出すこの	とにより貢

改 善(Action)											
	方向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性								
今後の事業 の方向性	I. 現状のまま継続 Ⅱ. 改善しながら継続 Ⅲ. 事業規模拡大 Ⅳ. 事業規模縮小 Ⅴ. 事業廃止 Ⅵ. 事業終了		神奈川県川崎競馬組合が運営する競馬事業は、売上や構成団体である神奈川県及び本市への配分金ともに増加傾向にあることから、引き続き、神奈川県と連携して神奈川県川崎競馬組合の継続的な経営の安定を図っていきます。								